

5・6組「生活単元学習」学習指導案

日時 令和3年11月26日（金）第5校時

場所 特別支援学級：5組教室

生徒数 男子3名 女子1名 計4名

指導者 竹田 温子（T1）、吉田 礼子（T2）

1 単元名 「家族と調理にチャレンジしよう」 献立作成と調理

2 単元設定の理由

(1) 学級及び生徒の実態

本学校には、情緒障害特別支援学級の生徒が2名（2年男子1名、3年男子1名）、知的障害特別支援学級の生徒が2名（3年男子1名、3年女子1名）在籍している。家庭での調理経験については、毎日食事作りを手伝っている生徒が1人で、他の生徒は全く食事作りや手伝いを行っていない。給食の献立には興味を示し関心はあるが、栄養のバランスや食事の組み合わせ方等についての意識は低く、理解にも課題がある。交流学級で家庭分野「食生活の自立」を学んだ生徒は3名で、学んだ知識や技能を生活に活用するまでには至っていない。

(2) 単元について

本単元では献立作成の基本を学ぶ。生徒に主食、主菜、副菜、汁物・飲み物の順で献立を組み合わせ、料理の内容や栄養のバランスを意識することの大切さを理解できるように指導する。1食分の献立を作成し、摂取できる食品群を自分で分類、計算、グラフにし、結果を振り返ることで健康的な食生活を意識することにつなげられるのではないかと考える。また、作成した献立の中で作れそうな料理に家庭でチャレンジする。家族と協力しながら食事作りをすることで家庭での調理経験を積むきっかけとなる機会にしたい。

(3) 指導・支援について

生徒が自身の健康を意識し、食事内容を考え、6つの基礎食品群を意識してバランスよく組み合わせられる力を育みたい。そのため生徒が主体的に献立作成できるよう手順を視覚化、構造化し、見通しを持った学習になるよう資料を準備する。現在、学校での調理実習が難しいため、家庭環境も配慮しながら、保護者と連携して、家庭での実習に繋げる。それぞれの生徒が作成した献立やチャレンジした料理を発表する場を設ける。発表時にICTでチャレンジした料理を提示し、お互いの取り組みをイメージできるようにする。生徒たちがお互いに評価し合うことでコミュニケーション能力や実践力、自己肯定感を高めることができるよう指導したい。

3 単元の目標

- (1) 献立の構成要素と作成手順を理解して、1食分の献立を作ることができる。
- (2) 作成した献立のバランスを調べることができる。
- (3) 家族と協力しながら料理にチャレンジすることができる。
- (4) 献立作成や家庭での実践を、共有し伝え合うことができる。

4 指導計画

過程	学習内容	ねらい	時間
1	「献立作成と調理」の取組を知ろう	<ul style="list-style-type: none"> ・献立作成と調理の活動内容を知り、見通しをもって取り組むことができるようにする。 	1
2	1食分の献立を作る	<ul style="list-style-type: none"> ・献立の構成要素と作成手順を理解して、1食分の献立を作成することができる。 ・作成した献立を伝え合うことができる。 	2
3	献立の栄養バランスを調べよう	<ul style="list-style-type: none"> ・6つの基礎食品群を理解することができる。 ・作成した献立の料理に使用する食品を、正しく分類することができる。 ・作成した献立で摂取できる食品を、電卓を使って食品群ごとに計算することができる。 ・栄養のバランスをグラフ化し、問題点を理解し、具体的に解決方法を考えることができる。 	3
4	家族と協力して調理をしよう	<ul style="list-style-type: none"> ・チャレンジできそうな調理を考え、計画を立てることができる。 ・家族と協力しながら調理にチャレンジできる。 	3/3 (本時)
5	振り返りをしよう	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の言葉で活動を振り返ることができる。 	1

教科別の指導「国語」で正しい言葉遣いについての学習。

教科別の指導「家庭」で、栄養素の働き、食品と栄養についての学習。

教科別の指導「数学」で、四則計算や電卓の使い方の学習。

5 学校研究課題との関連

研究主題

「主体的・対話的で深い学びの実現に迫る授業改善～食に関する指導の研究を柱に～」

本年度、「主体的・対話的で深い学び」を目指し、アクティブ・ラーニング等の工夫改善を図り、生徒が意欲的に参加できる授業づくりを重点目標としている。

生徒の活動をサポートするためには作業手順を視覚化し、それをヒントに作業することで自分の力で作業が進められた、という自信に繋げていく。自分の思いを文章で表現することが不得手な生徒には、ヒントになるカードを提示する。また、発表形式をパターン化し、主体的・対話的な活動に繋がるようルールを設ける。その他、授業のルールとしてわからない時、困った時にまずは自分で考えて解決する、仲間と相談して解決する、先生に相談して解決するという段階を踏ませる。加えて、解決したいことを自らの言葉で表現して伝えることを重視し、社会人となったときに必要になるコミュニケーション能力を伸ばしたいと考える。

6 食育の視点

心身の成長や健康の保持増進の上で望ましい栄養や食事のとり方を理解し、自ら管理していく能力を身に付ける。【心身の健康】

7 本時の学習

(1) 共通目標

①家族と協力してチャレンジした調理について発表することができる。

②仲間の発表を聞いて、感想を伝えることができる。

(2) 生徒の実態 (別紙参照)

(3) 個別の指導内容及び目標

NO	学年 名前	具体的な指導内容	個人目標
1	2年男 A	リラックスして発表できるよう、目を閉じて深呼吸させ、順番も配慮する。	自分のチャレンジした調理を丁寧に発表できる。仲間の発表を聞いて、自分の言葉で感想を発表できる。
2	3年男 B	発表につまずいた時のヒントになる見本を予め準備しておく。	自分のチャレンジした調理をすらすらと発表できる。仲間の発表を聞いて、簡潔に感想を発表できる。
3	3年男 C	最後まで堂々と発表できるよう、視線を合わせたり、手で合図を送る。	自分のチャレンジした調理を最後まで堂々と発表できる。仲間の発表を聞いて、良い部分に気付いて感想を発表できる。

4	3年女	D	自信をもって発表できるよう、称賛しながら応援する。	自信をもって、自分のチャレンジした調理を発表できる。仲間の発表を聞いて、前向きな感想を発表できる。
---	-----	---	---------------------------	---

(4) 展開

時間	学習内容	生徒の活動 ◎予想される生徒の反応 □指導者の主な指示、発問等 ※支援の手立て *評価の観点 ★深い学び	資料等
3分	1 はじめのあいさつをする。	<p>□献立作成の学習をしてバランスを考えました。家で調理にチャレンジする計画を立てました。今日は、チャレンジした調理を発表してもらいましょう。発表の前に今日の授業の流れを説明します。この後は、発表の仕方・注視点の説明、発表会、評価、振り返りの順番で行います。</p> <p>※1時間の流れを説明、掲示し見通しを持たせる。</p> <p>◎発表が不安で恥ずかしいと言葉や態度で表す。</p> <p>*教師の方に顔を向けて話を聞いているか。</p>	
2	2 発表の仕方・注視点の説明を聞く。	<p>□発表はゆっくり行いましょう。発表原稿を見てもいいですが、なるべく顔を上げて下さい。大型テレビの画像を映す時はどんな場面か説明をして下さい。発表の仕方・注視点で何か質問はありますか。</p> <p>※質問には丁寧に対応し、不安を軽減させます。</p>	大型テレビ 発表原稿 タブレット
3	3 本時の学習課題を確認する。	<p>学習課題 家族とチャレンジした調理の発表会をしよう。</p>	
4	4 家族とチャレンジした調理の発表会をする。 ・調理名 ・材料 ・手順 ・行った作業 ・できるようになったこと ・作った感想 ・画像の説明等	<p>□発表会を始めます。一人の発表が終わったら、発表を聞いた感想を発表してもらいます。がんばったことや良いことに気付いて具体的に伝えられるようにしましょう。また、発表中に気になったことを質問してもいいです。</p> <p>※家族とチャレンジした調理の発表順は予め決定しておく。</p> <p>※仲間のがんばったことを認められるよう促す。</p> <p>※発表の後は拍手をさせる。</p> <p>★発表の最後に質疑応答の場面を設けることで意見交換ができるようにする。</p> <p>□では、○○さん発表をお願いします。</p>	

	A	B	C	D	大型テレビ 発表原稿 タブレット
<p>・ 仲間の発表の感想 発表</p> <p>5 発表会の評価と、感想を記入する。</p>	<p>○家族とチャレンジした調理の発表をする。 ※発表に戸惑った時は声を掛け、目を閉じて深呼吸させる。 *自分のチャレンジした調理を丁寧に発表できたか。</p>	<p>○家族とチャレンジした調理の発表をする。 ※発表に戸惑った時は発表原稿を見てしっかり読むように促す。 *自分のチャレンジした調理をすらすらと発表することができたか。</p>	<p>○家族とチャレンジした調理の発表をする。 ※声が小さくならたら合図をし、堂々と発表できるように促す。 *自分のチャレンジした調理を最後まで堂々と発表できたか。</p>	<p>○家族とチャレンジした調理の発表をする。 ※発表に戸惑った時は近くに寄り添って発表を見届ける。 *自信を持って、自分のチャレンジした調理を発表できたか。</p>	ワークシート
<p>5 発表会の評価と、感想を記入する。</p>	<p>○家族とチャレンジした調理の発表をする。 ※発表に戸惑った時は声を掛け、目を閉じて深呼吸させる。 *自分のチャレンジした調理を丁寧に発表できたか。</p>	<p>○家族とチャレンジした調理の発表をする。 ※発表に戸惑った時は発表原稿を見てしっかり読むように促す。 *自分のチャレンジした調理をすらすらと発表することができたか。</p>	<p>○家族とチャレンジした調理の発表をする。 ※声が小さくならたら合図をし、堂々と発表できるように促す。 *自分のチャレンジした調理を最後まで堂々と発表できたか。</p>	<p>○家族とチャレンジした調理の発表をする。 ※発表に戸惑った時は近くに寄り添って発表を見届ける。 *自信を持って、自分のチャレンジした調理を発表できたか。</p>	ワークシート
<p>5 発表会の評価と、感想を記入する。</p>	<p>○家族とチャレンジした調理の発表をする。 ※発表に戸惑った時は声を掛け、目を閉じて深呼吸させる。 *自分のチャレンジした調理を丁寧に発表できたか。</p>	<p>○家族とチャレンジした調理の発表をする。 ※発表に戸惑った時は発表原稿を見てしっかり読むように促す。 *自分のチャレンジした調理をすらすらと発表することができたか。</p>	<p>○家族とチャレンジした調理の発表をする。 ※声が小さくならたら合図をし、堂々と発表できるように促す。 *自分のチャレンジした調理を最後まで堂々と発表できたか。</p>	<p>○家族とチャレンジした調理の発表をする。 ※発表に戸惑った時は近くに寄り添って発表を見届ける。 *自信を持って、自分のチャレンジした調理を発表できたか。</p>	ワークシート

5分	6 本時の学習を振り返る。 7 次時の予告をする。 8 終わりのあいさつをする。	<input type="checkbox"/> 今日の発表の評価と感想を発表して下さい。 <input type="radio"/> 一人ずつワークシートに記入した発表の評価と感想を発表する。 ※発表を聞くときは視線と姿勢に注意させる。
----	--	---

8 本時の評価

(1) 共通目標に係る評価

- ① 家族と協力してチャレンジした調理について発表することができたか。
- ② 仲間の発表を聞いて、感想を伝えることができたか。

(2) 個人目標に係る評価

NO	学年	名前	評価
1	2年男	A	自分のチャレンジした調理を丁寧に発表できたか。 仲間の発表を聞いて、自分の言葉で感想を発表できたか。
2	3年男	B	自分のチャレンジした調理をすらすらと発表できたか。 仲間の発表を聞いて、簡潔に感想を発表できたか。
3	3年男	C	自分のチャレンジした調理を最後まで堂々と発表できたか。 仲間の発表を聞いて、良い部分に気付いて感想を発表できたか。
4	3年女	D	自信をもって、自分のチャレンジした調理を発表できたか。 仲間の発表を聞いて、前向きな感想を発表できたか。

9 板書計画

献立の作成

学習課題 家族とチャレンジした調理の発表会をしよう。

学習の流れ

チャレンジした調理の発表 感想発表

- 1 ○さん
- 2 ○さん
- 3 ○さん
- 4 ○さん

発表の評価と感想の記入

発表の評価と感想の発表

振り返り

10 教室環境

